



金沢大学長

和田隆志

本年1月1日に発生した令和6年能登半島地震により亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに被災された全ての皆様に、心よりお見舞い申し上げます。被災された皆様のご回復と一日も早い復旧・復興・再建を心よりお祈りいたします。

現代社会は、気候変動などの環境問題、政治経済、食糧・飢餓、健康・感染症など多くの地球規模の課題を抱えております。これらの諸課題に対し、大学に求められる役割はますます大きくなっています。

2022年4月に金沢大学長を拝命し、5月に金沢大学未来ビジョン「志」を公表してから約2年が経ちました。未来ビジョン「志」は、金沢大学憲章に掲げる「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」という基本理念に立脚しています。オール金沢大学で、未来の課題を探求し克服する知恵「未来知」により社会に貢献することを目標としています。

2023年には、文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」に採択されました。環境負荷低減に資する研究も含め、基礎研究・融合研究の高度化や、社会実装の最速化を図ります。また、社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の育成に引き続き尽力いたします。さらに、2024年1月に「能登里山里海未来創造センター」を設置しました。被災地の一日も早い復旧・復興・再建に資することを目的としています。「未来知」により、未来の価値を創り、社会貢献をより一層加速させます。

また、金沢大学では環境方針を定めており、基本理念のもと、6つの基本方針を定めています。それぞれの基本方針に基き、金沢大学環境基本計画に定める行動目標の達成をめざしていますこれに向け全学体制で環境に配慮した活動に取り組んでいます。2022年3月には、「金沢大学カーボンニュートラルに向けた取組計画」を策定しました。さらに、カーボンニュートラルに向けた本学の姿勢をより明確にし、ロードマップの見直しを図り、研究・教育等の具体的な成果や目標を充実させた「取組計画2023改訂版」を2024年6月に策定・公表しました。「持続可能な開発目標(SDGs)」に掲げるクリーンエネルギーや気候変動等の目標達成にも寄与する施設、教育、研究・開発、社会共創などの社会の先導モデルとなる取り組みを最大限推進しています。

本報告書をご覧ください、金沢大学の取り組みへのご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。